

平成30年度 第1回大野市国民健康保険運営協議会 会議録概要

と き：平成30年5月31日（木）午後7時～8時05分
と ころ：結とびあ 309号

- 【出席委員】 金森会長、梅林副会長、松浦委員、足利委員、水本委員、宗信委員、武村委員、堀委員、酒井委員、松田委員、竹本委員（11名）
- 【欠席委員】 廣瀬委員（1名）
- 【市側出席者】 坂井民生環境部長
（事務局） <市民生活課> 笠松市民生活課長
（保険年金グループ） 中山課長補佐、森永企画主査、高崎企画主査
<健康長寿課> 伊藤主任管理栄養士 （和泉診療所） 小林主査

1. あいさつ

- ・民生環境部長あいさつ
- ・会長あいさつ

2. 会議録署名委員の選任

- －被保険者を代表する委員と保険医又は保険薬剤を代表する委員－
宗信 昭子 委員 酒井 和子 委員

3. 議題

（1）大野市国民健康保険事業の状況について（P1～P3）

【事務局説明後、質疑応答】

特になし

（2）平成29年度大野市国民健康保険事業特別会計決算（見込）及び平成30年度予算について （P4～P5）

【事務局説明後、質疑応答】

委員 例年より繰越金が多いが、市から入ってくる赤字補填の繰入が減額となるのか。また、どこで歳出の数字を合わせるのか。

事務局 次年度の国庫負担金等の精算後に、最終的な繰越金額や赤字補填の繰入額が確定することになる。

今年度の税率改正については、昨年度より繰越金が多い見込みであることから、税率を上げずに資産割だけを下げられる。但し、1人当たり医療費について、28年度には薬価改正によりいったん下がったが、29年度は再び上がったことや、最新の医療費の実績等も考慮する必要がある。

これらのことを勘案して、今回の会議には税率改正案を提示するので検討願いたい。

(3) 大野市国民健康保険税条例の一部改正等について (P 6 ~ P 7)

【事務局説明後、質疑応答】

- 委員 29年度の税率改正についての県内他市の状況等がわかっていたら教えていただきたい。
- 事務局 資産割を一気に廃止したのが1市、3年ほどで段階的に廃止する予定が2市ある。1市は平成36年度に向けて廃止の方向。大野市を含めて5市は未定の状況である。
- 委員 高額療養費制度の見直しの中で、70歳以上の現役並み所得の人の自己負担限度額が26万円というのは、かなり高額なのではないか。
- 事務局 課税所得が690万円という、相当な所得の方になるので、所得に応じて負担いただくという国の方針によるものである。

(4) 保健事業について (P 8 ~ P 9)

【事務局説明後、質疑応答】

- 委員 入浴サービス事業とあるが、市内にあっ宝んどやうらら館、平成の湯があるが、無料開放をする日はないのか。月に1回無料の日を設定する計画や案はないか。
- 事務局 あっ宝んどについては、健康保養施設としての企画の中で高齢者の割引をしているが、市民全員に対する無料開放は検討していない。

(5) 和泉診療所の状況について (P 10)

【事務局説明後、質疑応答】

特になし

— 審議終了 —

4 その他

(1) 当運営協議会の今後の開催スケジュールについて (別紙スケジュール表)

【事務局説明後、質疑応答】

- 事務局 補足説明させていただく。
- 保険税率の改定においては、医療費の動向や財政状況、他市の状況のほかに、県が算定する事業費納付金と標準保険料を勘案することとなる。
- しかし、県による仮算定は10月にしか出ないことから、次回8月の時点では、算定額以外の状況により検討し、10月に県の仮算定が出たら、その算定額を踏まえて更に検討を重ねるという進め方になるものと考えている。

— 梅林副会長 閉会のあいさつ —